

# 第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」 アクションプログラム中間評価

平成25年11月愛媛県

新たな取組みや体制の強化など  
数値に表れない成果のある施策  
を で表しています。

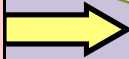
数値が向上した施策  
を で表しています。

矢印は成果指標の進捗状況を表しています。  
(成果指標のうち順調に推移しているものの割合)

## 1 次代を担う活力ある産業を“創る” 産業17施策

取組  
状況

進捗  
状況



48.3%  
(28/58)

### 【成果】

「すご技データベース」によるものづくり技術の発信と本県農林水産物のブランド力向上に加え、「営業本部」の営業活動により、国内外の市場開拓を進めました。また、南予いやし博の開催や自転車新文化の推進などにより、本県の多彩な資源をPRし、魅力ある観光地づくりに取り組んでいます。

### 【課題】

南予いやし博に続く、瀬戸内しまのわ2014と国際サイクリング大会の開催を起爆剤として、交流人口の拡大を県下全域に波及させるとともに、高速道路のミッシングリンク解消、農林水産業の6次産業化や担い手確保などにも引き続き取り組んでいく必要があります。



### 【重点施策の主な成果】

#### 新産業の創出と産業構造の強化

- ・「すご技データベース」によるものづくり技術の発信(23年9月)
- ・新繊維産業センターの建設(26年4月開所予定)

#### 若年者等の就職支援と産業人材力の強化

- ・ジョブカフェ愛work利用者の就職決定者が2千人超(24年度)

#### 力強い農林水産業を支える担い手の確保

- ・新規農業就業者の増加(22年度113人 24年度150人)

#### 愛媛産品のブランド力向上と販路拡大

- ・「愛のくに えひめ営業本部」・営業本部長の創設(24年4月)
- ・媛すぎ、媛ひのき、愛育フィッシュ(24年3月)、愛媛ブランド牛開発中
- ・東アジアでの販路開拓(上海、香港、台湾、シンガポール、インドネシア)

#### 魅力ある観光地づくり

- ・えひめ南予いやし博2012の開催(24年4月～11月)
- ・自動車新文化の発信(サイクリングしまのわ2013(25年10月)・マルゴト自転車道)

#### 広域・高速交通ネットワークの整備

- ・ミッシングリンク解消に向けた取組み
- ・「高速道路(宇和島北～西予宇和)」、「三坂道路」の開通(24年3月)、「大洲・八幡浜自動車道(名坂道路)」の開通(25年3月)
- ・LCC(松山～成田)の就航(25年6月)

#### 【その他の施策の成果】

- ・イメージアップキャラクター「みきゃん」誕生(23年11月)
- ・松山～台湾・松山便の就航(25年10月)



## 2 快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ” 暮らし18施策

取組  
状況

進捗  
状況

45.5%  
(30/66)

### 【成果】

29年度完了を目指す県立学校の耐震化、市町の緊急避難路整備への助成や防災士の養成促進などの防災・減災対策を進めるとともに、原子力発電所の安全・防災対策の強化に努めました。また、整備を進めていた県立中央病院新本院の運営を開始したほか、認知症疾患医療センターを設立し、認知症対策の充実にも取り組みました。

### 【課題】

全国を上回るペースで人口減少と高齢化が進む本県において、高齢者が活躍できる地域づくりや地域包括ケアシステムの構築、医師不足の解消など県民が安心して生活できる保健・医療・福祉体制の充実や地域コミュニティの活性化に努めるとともに、原子力発電所の安全対策や南海トラフ地震に備えた防災・減災対策にも引き続き取り組んでいく必要があります。

### 【重点施策の主な成果】

#### 未来につながる協働のきずなづくり

・えひめ愛顔の助け合い基金の創設(23年4月)

#### 高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現

・認知症疾患医療センターの業務開始(25年2月)

・新しい高齢者保健福祉計画と介護保険事業支援計画の策定(24年3月)

#### 安全・安心で質の高い医療提供体制の充実

・県立中央病院新本院運営開始(25年5月)

#### 原子力発電所の安全・防災対策の強化

・伊方原発での異常発生時において「えひめ方式」の連絡通報徹底、国の基準を上回る独自の追加安全対策を要請(23年3月)

#### 防災・危機管理体制の充実

・地域防災計画の修正、避難路の整備

・防災士数(成果指標)全国第3位

#### 災害から県民を守る基盤の整備

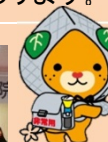
・県立学校耐震化率伸び全国平均以上、特別支援学校耐震化率伸び2年連続全国1位

### 【その他の施策の成果】

・携帯電話不通話地域や地上デジタル放送の難視聴地域解消支援

・自転車の安全な利用の促進に関する条例の施行(25年7月)

・犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくり条例の施行(25年4月)



## 3 未来を拓く豊かで多様な「人財」を“育む” 人づくり10施策

取組  
状況

進捗  
状況

50.0%  
(19/38)

### 【成果】

高齢者の経験を生かした地域の子育て支援や小児救急医療相談体制の強化など安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに取り組むとともに、学力向上5か年計画の策定、スクールカウンセラーの配置、特別支援学校の整備など教育環境の向上を図りました。また、正式内定を受けたえひめ国体・障害者スポーツ大会の開催に向け、体制を強化しました。

### 【課題】

全国で少子化が進む中において、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりとともに、子どもたちの学力の向上や心と体を育てる教育の充実、教職員の資質の向上に取り組む必要があります。また、えひめ国体における天皇杯獲得に向けて競技力の向上を図るとともに、開催に向けた着実な準備と県民総参加の気運づくりに引き続き取り組む必要があります。

### 【重点施策の主な成果】

#### 安心して産み育てることができる環境づくり

・子育て支援の地域モデル事業開始(24年度)

・小児救急医療電話相談の体制強化

・周産期死亡率の低下(成果指標)

#### 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進

・学力向上5か年計画の策定(25年3月)

・特産物を利用した加工品開発を通じ、高校生の豊かな心を育成



#### 競技スポーツの振興

・29年国体の正式内定(24年7月)、国体局の設置(25年4月)

・総合運動公園陸上競技場サイドスタンド、大型映像装置の工事完了(25年2月)

### 【その他の施策の成果】

・県内全公立小中学校でスクールカウンセラーによる教育相談が可能

・歴史文化博物館の「密 空と海」の整備(24年9月)

・全市町で防災教育推進連絡協議会の開催、学校防災マニュアルの見直し

・みなら、新居浜特別支援学校の整備

・特別支援学校キャリア教育の推進・就労支援の強化

・オール・イングリッシュ実践リーダー養成事業による英語教育の充実・改善



## 4 調和と循環により、かけがえのない環境を“守る” 環境9施策

取組  
状況

進捗  
状況



33.3%  
(11/33)

### 【成果】

生物多様性えひめ戦略の策定や生物多様性センターの設立など、本県の生物多様性の保全に向けた取組みを強化するとともに、石鎚山ヒルクライムの開催支援、石鎚山のトイレ整備の推進、環境教育学習活動の充実などに取り組みました。また、住宅用太陽光発電システムの導入促進、バイオマスの活用、EV等低炭素ビジネスの推進など、環境と調和した産業の育成等にも努めました。

### 【課題】

環境と調和し、自然と共生できる生活スタイルの確立と、持続的な発展のためには、将来にわたる継続的な努力の積み重ねが重要であり、引き続き、本県の豊かな自然と生物多様性の保全に努めるとともに、再生可能エネルギーの利用促進や恵み豊かな森林づくり、循環型社会の構築に向けた意識啓発などの取組みを地道に続ける必要があります。



### 【重点施策の主な成果】

#### 豊かな自然環境と生物多様性の保全

- ・石鎚山クリーンアップ推進連絡会を設置し、環境配慮型トイレ整備の検討、着手
- ・生物多様性えひめ戦略の策定(23年12月)生物多様性センターの設立(24年4月)

#### 再生可能エネルギーの利用促進

- ・住宅用太陽光発電システムの設置補助を実施する市町への補助制度創設
- ・工業用水道や農業用水、県管理ダムを活用した小水力発電導入の検討

- ・バイオマス活用推進計画策定(24年6月)

### 【その他の施策の成果】

- ・石鎚山系でのエコツーリズムの推進
- ・石鎚山ヒルクライムの開催支援
- ・循環型社会づくり実践推進校3校での地域と連携した体験活動の実施
- ・クールビズ、ウォームビズの参加企業・団体数毎年度増加



## 推進姿勢

アクションプログラムの施策を進める際の県の基本的な姿勢を「挑戦」「連携」「創造」の3つの視点で示したものです。

### 【取組状況】

挑戦・・・「改革に終わりなし」との認識の下、新しい行政改革大綱を策定し、徹底した行財政改革に取り組むとともに、国に対して地方分権改革の実行を強く求めています。

連携・・・県と市町が連携する「チーム愛媛」を推進し、県と市町の二重行政の解消を図り、総合力の発揮に努めています。

創造・・・「政策立案型行政」への転換に向けて、職員の意識改革を図るとともに、課長級昇任試験や業務執行リーダー制を導入するなど組織の機能強化を進めています。

### 【主な取組み】

- ・県・市町連携「チーム愛媛」の推進(税の徴収、道路の維持管理、入札システムなど)
- ・行革甲子園の開催(24年10月)
- ・県と市町との人事相互交流(20市町すべてと交流)
- ・えひめ発の改革提言(地方分権(23年7月)・社会保障(24年7月)・規制緩和(25年7月))
- ・新しい行政改革大綱(23年12月)、財政健全化基本方針の策定(23年11月)

- ・国と地方の協議の場への参画(23年8月)
- ・全国知事会議の本県初開催(25年7月)
- ・課長級昇任試験の導入(23年9月)
- ・業務執行リーダー制の導入(24年4月)



## 「愛媛の未来づくりプラン」推進懇話会のご意見

ほとんどの施策で新たな取組み等を実施し、事業効果が具体的に表れており、着実に実績を積み上げてきている。一方、成果指標のうち、順調に推移しているものは45.8%にとどまっているが、中間評価という時点を考慮すると妥当と考える。

引き続き重点施策を中心に取組みを強化し、成果に繋げていくことが必要である。

